

事業シート(平成31年度決算)

事業名	41400 救急医療対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。また、救急医療体制の充実強化を図り、誰もが安心して医療を受けられる環境を作ります。
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	保健衛生費		根拠計画				
			目	4	地域医療対策費						
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。	概要	・休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科) ・在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助 ・救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施や救急早見表の配布などによる適正な救急医療受診の啓発
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	57.4%	53.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			増減(b)-(a)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		103,903	103,632	103,579	103,629	98,119	△ 5,513
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入、福祉健康基金繰入等)	34,538	36,359	34,674	34,674	37,211	852
一般財源		69,365	67,273	68,905	68,955	60,908	△ 6,365
個票枝番	主な事業内容						
	休日診療所の運営	20,125	20,294	17,958	19,086	18,645	△ 1,649
	24時間電話医療相談	1,400	1,125	3,000	1,922	1,026	△ 99
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	42,048	42,048	42,291	42,291	42,362	314
	救命救急センター運営費等助成	40,000	40,000	40,000	40,000	35,929	△ 4,071

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		102,067
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
104,755	102,067	102,067	△ 1,512	
35,963	35,080	35,080	406	
68,792	66,987	66,987	△ 1,918	
査定額	説明			
16,900				
3,000				
41,977				
40,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科 利用者数 1,579人 歯科 利用者数 103人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・24時間電話医療相談の相談件数 1,320件
評価等	・市が休日診療所を開設することにより、救急医療施設が患者の重症度に応じた対応を行うことができた。 ・インフルエンザ流行期に、休日診療所の医師、薬剤師等が二人で対応する2診体制をとったことで、待ち時間の短縮に繋がった。 ・市民が安心して救急医療を受けられる体制整備に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科 利用者数 1,868人 歯科 利用者数 127人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・24時間電話医療相談の相談件数 1,887件
評価等	・市が休日診療所を開設することにより、救急医療施設が患者の重症度に応じた対応を行うことができた。 ・インフルエンザ流行期に、休日診療所の医師、薬剤師等が二人で対応する2診体制をとったことで、待ち時間の短縮に繋がった。 ・市民が安心して救急医療を受けられる体制整備に寄与した。 ・休日診療所は、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症が疑われる患者と一般患者の動線が分かれていないため、対策の検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・休日診療所の管理運営に必要な経費を計上 ・中核病院の救急医療体制整備に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。また、救急医療体制の充実強化を図り、誰もが安心して医療を受けられる環境を作ります。 ・社会福祉の充実を目指し、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)登録制度の利活用を進めます。
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	保健衛生費		根拠計画				
			目	4	地域医療対策費						
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から専門医等までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	57.4%	53.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	163,633	158,814	166,080	176,530	163,975	5,161	
特定財源							
国費( )							
県費( 地域医療確保事業 1/2 )	3,850	3,845	3,850	9,100	8,338	4,493	
その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	13,300	15,081	8,700	8,700	9,500	△ 5,581	
一般財源	146,483	139,888	153,530	158,730	146,137	6,249	
個票枝番	主な事業内容						
	医学生実習事業補助金・臨床研修支援事業補助金・デンバーへの研修医派遣助成	17,120	14,744	16,800	16,800	11,127	△ 3,617
	医師確保支援事業補助金・病院設備整備・院内保育事業運営等補助金	128,453	127,169	128,900	139,400	136,155	8,986
	放射線治療の教育研究に対する助成・三次周産期医療機関の医師確保に対する助成	17,700	16,662	17,700	17,700	15,357	△ 1,305
◎ 1	岐阜大学医学部「地域医療コース」修学に対する支援			2,400	2,400	1,200	1,200
	岐阜大学と連携した産婦人科医療体制の研究						
	医学生を対象としたガイダンスへの参加						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
172,345	172,810	172,810	6,730
6,632	6,360	6,360	2,510
	3,130	3,130	△ 5,570
165,713	163,320	163,320	9,790
査定額	説明		
12,400			
127,200			
17,700			
6,000			
3,000			
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・市長の推薦により、岐阜大学医学部「地域医療コース」を受験された学生1名が入学し、市では修学資金としての負担金を県へ納付した。
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・医師等の育成・確保のための環境整備など、各種施策に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

## 主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民保健部 医療課	
枝番・内容	1 岐阜大学医学部「地域医療コース」修学に対する支援		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	4	衛生費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費	内線			2802
		<input type="checkbox"/>		目		4	地域医療対策費	作成年月			R2.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>岐阜大学医学部地域枠推薦と連動した、第1種修学資金制度の見直しで、当市をはじめとした県内の医師確保が困難な地域の医師不足の課題に対し、初期臨床研修等を出身市町村や圏域に義務づけることで充足を図るもの。</p>	概要	<p>・H31から、岐阜大学医学部の地域枠に新たに「地域医療コース」を新設する。          ・返還免除要件は、出身圏域で初期臨床研修、続いて7年間県内の医療機関で従事(4年間は出身圏域で、その内の2年間は出身市町村)すること。          ・市長の推薦書の提出が必要          ・従来は月10万円に、10万円を上乗せし、上乗せ分は市が負担する。</p>
----	---	----	---

## [参考] H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## [参考] H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	2,400
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		2,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	2,400
	繰越	
	補正等	
	最終	2,400
決算額		1,200
対前年度増減額(決算)		1,200

## R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		3,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100千円×12か月×2名分(入学者見込み2名)</li> <li>・前年度の12月に推薦希望者と市長の面談を実施する。</li> <li>・面接の結果をもとに、高校へ推薦書を送付する。</li> <li>・31年度の当初に、実際に入学し修学資金の貸し付けを希望する学生の誓約書が県から送られる。</li> <li>・31年度中に負担金を県へ納付する。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度11月・・・高校からの推薦依頼書の受付開始</li> <li>・前年度12月・・・推薦者確定のための市長面接(推薦者の決定)</li> <li>・前年度1月～2月・・・センター試験及び推薦試験の受験、合格発表</li> <li>・31年度5～6月・・・入学者の誓約書を受理</li> <li>・31年度中・・・県へ負担金を納付</li> </ul>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H31年度に、市長の推薦により「地域医療コース」へ入学した学生は1名であった。</li> <li>・当該学生の誓約書を県から受理後、1名分の負担金を県へ納付した。</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。</li> <li>・引き続き、飛騨圏域の高校(進路指導担当教諭)への情報提供、連絡調整を進める。</li> <li>・入学された学生とは、地域医療や医師確保の現状等について情報交換を定期的に行い、将来の地元就業へ向けた支援を継続する。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100千円×12か月×5名分(入学見込み4名、2年次以上1名)</li> <li>・前年度の12月に推薦希望者と市長の面談を実施</li> <li>・面接の結果をもとに、高校へ推薦書を送付する。</li> <li>・R2年度の当初に、実際に入学し修学資金の貸し付けを希望する学生の誓約書が県から送られる。</li> <li>・R2年度中に、新規入学生及び在校生の負担金を県へ納付する。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度11月・・・高校からの推薦依頼書の受付開始</li> <li>・前年度12月・・・推薦者確定のための市長面接(推薦者の決定)</li> <li>・前年度1月～2月・・・センター試験及び推薦試験の受験、合格発表</li> <li>・R2年度5～6月・・・入学者の誓約書を受理</li> <li>・R2年度中・・・県へ負担金を納付</li> </ul>	